

「小さな拠点」について

松野 久郎



〔質問〕小さな拠点による地域づくりは、住民参画の地域づくりとして促進することが重要と考えるが、本市ではコンパクトシティ化を目指すのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市は白石町外7カ村が合併して誕生し、集落が市中心部の外側に旧村単位で形成されている。

人口集積を図ることは、各地区の衰退と農地の荒廃に繋がることから、コンパクトシティ化は目指さない。

〔質問〕人口減少や高齢化が進む中、暮らしの安心と未来の希望のため、小さな拠点による地域づくりが必要と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕市内各地区の人口構成が今までの20年とこれからの20年では大きく違ってくる予測である。地区公民館を中核施設とした小さな拠点づくりが必要と考えている。

〔質問〕地域づくりに向けた行動は、住民自身が主体的に行動する必要があるが、今後、行政としての支援をどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕住民が主体的に取り組むことができるよう、生涯学習課が相談窓口となつてサポートしていく。

◎**運転免許自主返納者への支援制度導入について**

〔質問〕運転免許自主返納者への支援制度導入について所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕市民バスは、路線によって70歳以上の方は半額の100円で利用でき、自主返納した場合は、タクシー料金が1割引きとなる制度もある。現状ではこれらを利用していただきたいと考えている。

◎**小中学校統廃合の準備状況について**

〔質問〕斎川小学校統合に係る準備委員会の決定事項について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕教育課程、学校行事、校納金の取扱い等については学校間での調整は終えており、スクールバスの1回目の試乗会も実施している。

施設利用に関しては、当面、学校管理課が管理し、体育館、校庭の貸し出しも同様にと考えている。備品や児童会、PTA組織、子ども会育成会等は、ほぼ決定している。

【その他の質問】

◎**国民健康保険について**

◎**落ち葉等の野外焼却について**



市政に対する一般質問の様子

議会を傍聴してみませんか！

12月定例会は、12月8日（金）午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行なっています。議場で行われる本会議（議案審議・一般質問など）や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。

※録画映像は、ライブ中継配信の日から30日を経過すると自動で削除されます。

●7月臨時会の傍聴者数 4人 ●9月定例会の傍聴者数 50人

●7月・9月の議会ライブ中継の合計視聴者数（累計） 1,185人